



献血協力者

井上 清孝 さん

◆献血のきっかけ◆

高校生の時に血液が必要との声かけがあり、両親から献血についての話を少し聞いており、『献血』の認識はありました。大学生になった時、キャンパス内に献血バスがきており、記念品として乳酸菌飲料が貰えることもあって、その時初めて献血をしたのがきっかけです。記念品についつられてしまいました(//ω//)



★日赤との関わり★

会社で献血バスが定期的にくており、職場の献血担当となりました。また献血と並行して登録が可能な骨髄バンク登録(当時は登録団体がありませんでした。)の説明員として携わったのがきっかけです。

今は定年退職をしましたが、骨髄バンク登録会が可能な献血会場へ行き、献血と骨髄バンクの促進を月12、13回大阪府と奈良県で続けています。



♥献血のエピソードなど♥

初めて献血(全血献血)をしたとき、「こんな感じなのか!」と思い、あっという間に終わったのが記憶に残っています。

学生時代は定期的に全血献血を学内・学校帰りに協力し、社会人になってからは会社に献血バスがきていたので、協力を続けていました。

当時は、全血献血のみでしたが、成分献血が開始されたときに血液センターから協力依頼の電話があり、職場が近いこともあって、仕事帰りに血液センターへ協力しに行きました。採血方法が全血献血と成分献血は違ったので、とても印象に残っています。

職場の献血バスでは全血献血、血液センターからの依頼時には成分献血の協力しており、献血回数が『277回』となっています。まさかこんなにも献血へ協力するとは・・・!

献血卒業の70歳までに、『300回』を目標としています!!



★まだ献血をしたことがない方へ!★

献血にチャレンジするのは「今でしょ!」と思います! やってみると、きついことではない。

常に献血へ協力している人は血液が不足していること、血液の状況を知っているが、献血に関わったことがない人は、血液はあって当たり前と過ごしており、どこか他人事として思っているように感じます。

血液は誰だっていつ必要になるかわからないので、あって当たり前と思うのではなく、自分事として捉えておく必要があると思います。